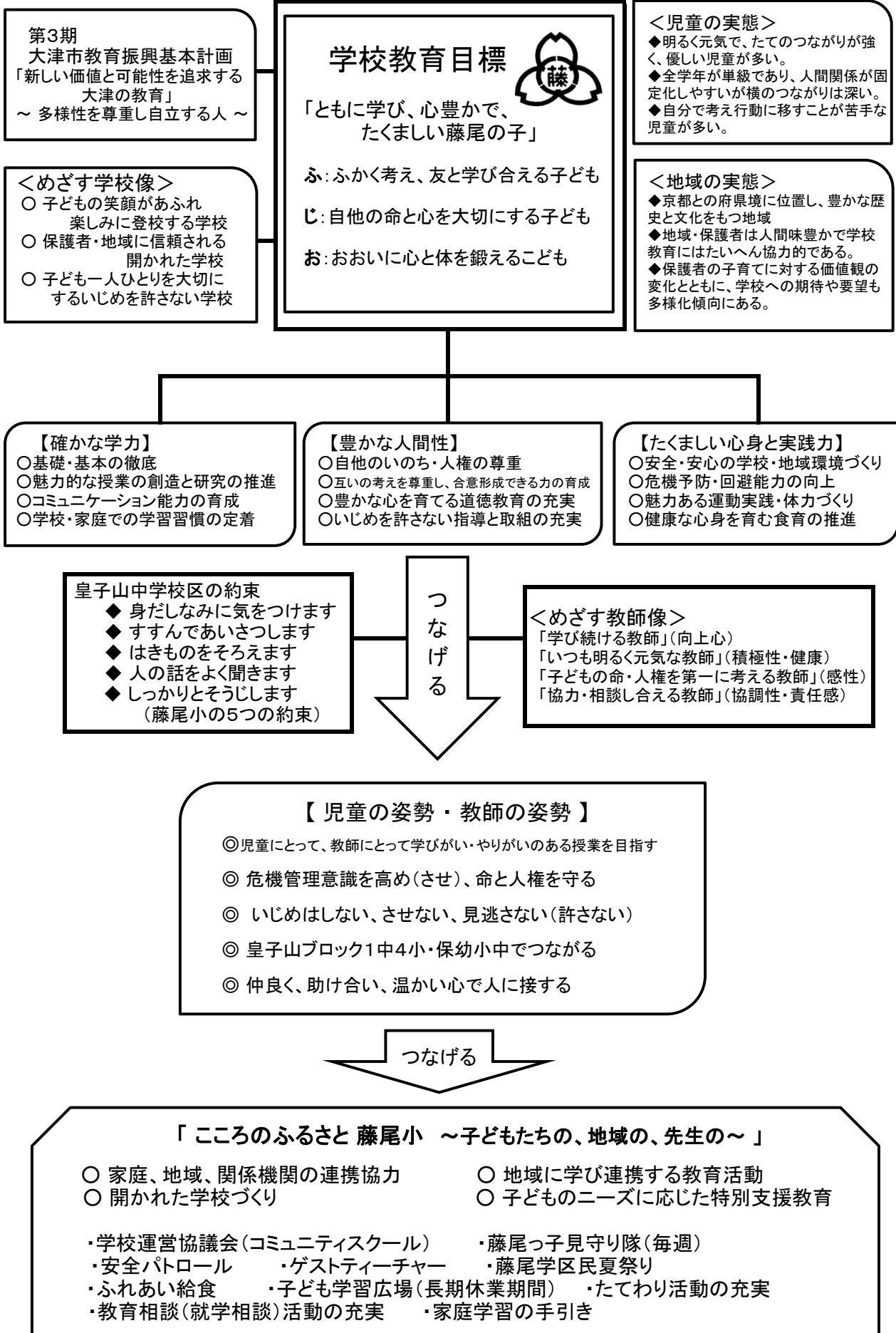


# 令和4年度 藤尾小学校経営管理全体計画(構想)





## 今年度の重点目標及び具体的方策

学校教育目標	ともに学び、心豊かで、たくましい藤尾の子			
めざす学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの笑顔があふれ、楽しみに登校する学校</li> <li>○ 保護者・地域に信頼される開かれた学校</li> <li>○ 子ども一人ひとりを大切にすいじめを許さない学校</li> </ul>			
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 「わかる喜び」「教える喜び」を実感する授業を展開し、確かな学力を育てる</li> <li>2 自分も他人も大切にする豊かな心、健やかな体を育てる</li> <li>3 当たり前が当たり前でできる力を育てる</li> <li>4 子ども、保護者、地域から信頼される学校をめざす</li> <li>5 地域の人材や教育資源を活用し、地域に開かれた学校をめざす</li> <li>6 ICT機器活用を意識した学習環境と心地よい生活環境を整備する</li> </ul>			
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ICT学習・プログラミング学習の推進し、効果的な学習の在り方を模索する。</li> <li>2 自他の「いのち・人権」を大切にする心の育成と生徒指導の充実を図る</li> <li>3 特別支援教育を土台にした教育と校内組織の充実を図る</li> <li>4 学びに向かう力の向上にむけて、支援・指導方法の工夫・改善を図る</li> <li>5 地域の恵まれた歴史や自然、人とのふれあいを大切にする。</li> </ul>			
	重点目標	具体的方策		
重点目標と具体的な方策	1 主体的・対話的で深い学び	1	児童理解を大切にした支持的風土を育てる学級・学年集団作りの実践	肯定的集団の育成
		2	単元を貫く授業の創造と見通しを示した授業の工夫改善	言語力育成と集団作り
		3	プログラミング学習の推進とタブレット等のICT機器を活用した魅力ある授業づくり	ICT機器活用能力の育成
	2 自他を大切に	4	生命や人権を尊重する心とそれに繋がる道徳的実践力を育てる活動の展開	人権意識
		5	心のサインを見逃さないため、児童アンケートや(毎月)や教育相談旬間(学期に1回)を実施する。	いじめ対策教育相談
		6	たくましい心と体を育てるための授業や運動遊びを工夫改善し、運動する喜びを感じる子どもの育成。	体力づくり
	3 安全・安心	7	各教科・道徳の授業・体験的な学習を通して、安全に対する基礎的な知識の習得と態度の育成を図る。	安全教育
		8	規範意識を醸成し、いじめを許さない学校づくりを進める。藤尾っ子のくらし、いじめ防止基本方針、あいうえおアンケートの活用を図る。校内における生徒指導体制組織ならびに特別支援教育体制組織の確立と充実を図る	組織的体制
		9	教職員が危機管理意識を高め、同僚性を発揮して未然防止に努める。防犯教室、安全教室、引き渡し訓練の実施	危機管理意識
	4 基礎・基本	10	「わかる喜び」「教える喜び」を実感できる指導体制・指導方法の工夫改善を行う。	指導改善
		11	家庭学習のすすめ、よくわかる藤尾小等により、学習習慣や生活規律を整える。	学習・生活スキル
		12	一人ひとりのニーズに応じた個別の指導計画を作成し、適切な指導を行い、校内就学委員会の充実を図って、学校全体で取り組む姿勢を基本とする。	特別支援教育
	5 育ちと学びを支える連携	13	地域の自然・もの・人等の地域資源を積極的に活用する。情報発信、参観、懇談会等で地域・保護者と積極的に情報の共有を行う。	保護者・地域連携
		14	「皇子山中学校区 小中学校の約束」を徹底する。一人一人を大切にす生徒指導。「こころのふるさと 藤尾小」を意識させる取組、言葉かけを行う。	約束・合い言葉
		15	保・幼・小・中、関係機関との連携を密にし、学校の支援体制を充実する。	校園・関係機関連携
	6 教育環境	16	教師の学ぶ意欲を促進するOJT研修を行うとともに、授業研修、問題解決対応研修等実践的な研修、教職研修や職務に応じた研修を主体的に行う。	教職員研修
		17	学習にふさわしい教室環境を職員全員が意識し、環境整備を行う。	学習環境整備
		18	朝の学習等の時間を確保し、成果を分析しつつ基礎的な学力の向上につなげる。	学ぶ力向上